

平成30年度 広島県病害虫発生予察情報 予報第7号（水稻）

平成30年8月29日発表
広島県西部農業技術指導所
対象期間 平成30年8月下旬～9月上旬



1		予報内容（9月上旬まで）		
病害虫名		現況	予報	防除上の注意事項
穂いもち	早生	並	—	◇穂そろい期の基幹防除を徹底する。 ◇これまでに葉いもちが多発しているほ場や、既に穂いもちが出ているほ場では、降雨が続く場合、穂そろい期防除の約10日後（傾穂期）に追加防除を行う。
	中生	並	並	
トビイロウンカ		並	並	◇要防除水準は第2世代幼虫期に1株あたり5頭以上（25株調査）である。 ◇ほ場での発生状況を確認し、防除を行う。
斑点米カメムシ類（カスミカメムシ類、その他加害種）※	中北部	—	やや多	◇2等米への格下げ（斑点米混入率0.1%以上）が発生する目安は、捕虫網による乳熟期のすくい取り調査（20回振り）でカスミカメムシ類4頭以上、その他の加害種で2頭以上である。 ※カスミカメムシ類はアカスジカスミカメなどの小型のカメムシ類、その他加害種はホソハリカメムシなどの大型のカメムシ類。 ◇詳細は発生予察情報第3号、第5号を参照する。



○病害虫発生予察情報やフェロモントラップ等の調査データは、広島県ホームページで閲覧できます。

広島県 植物防疫

検索

または



○お問合せ先：広島県西部農業技術指導所 植物防疫チーム

（東広島市八本松町原 6869 tel：082-420-9662）

(1) 穂いもち（26地点調査）

◆現況調査結果（早生：並，中生：並）

	県内全域					
	早生			中生		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年
発生地点率	7.7	30.2	23.1	12.5	1.0	0
平均発生程度	1.07	1.06	1.01	1.01	1.00	1.00

(2) トビイロウンカ（26地点調査）

◆現況調査結果（並）

	本年	平年	前年
発生地点率	8.0	13.8	0
平均発生程度	1.01	1.04	1.00

【予察灯（呉市安浦町）での8月20日までの誘殺数累計】本年0頭，平年2.2頭，前年0頭。

「予報」「現況」は、「多～少」の5階級に区分して発表しています。区分の方法は、原則として、過去10年の数値を発生が多かった順に並べて、相対比較しています。

「多」 : 1番目（最多年）と同程度以上
「やや多」 : 2～3番目と同程度
「平年並」 : 4～7番目と同程度
「やや少」 : 8～9番目と同程度
「少」 : 10番目（最少年）と同程度以下

区分	多	やや多			並			やや少		少
順序	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

3

その他の病害虫の発生状況（現況調査：8月21～23日，26地点調査）

病害虫名	現況
紋枯病	早生：やや少 中生：やや多
セジロウンカ	少
コブノメイガ	少
ツマグロヨコバイ	並

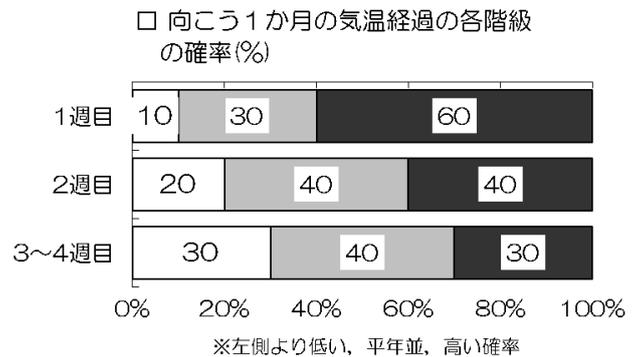
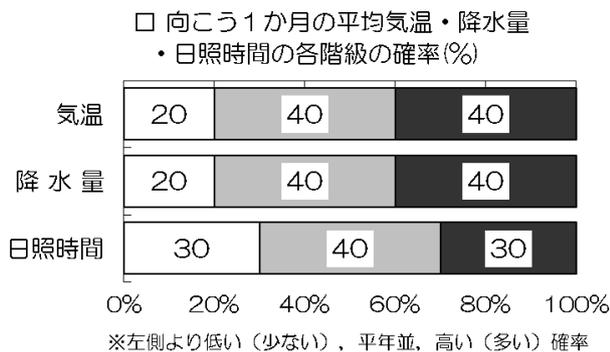
4

気象情報

中国地方1か月予報（広島地方気象台8月23日発表，8月25日から9月24日までの天候見通し）

平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は，平年並または高い確率ともに40%です。降水量は，平年並または多い確率ともに40%です。



農薬を使用する際は，農薬ラベルをよく確認し，
農薬使用基準を遵守して防除を行いましょう！！
周辺に収穫期が近くなっている作物はありませんか？
周辺への農薬飛散防止に努めましょう！！

